

Windows 10 サポート延長 (2026年10月13日まで)

Microsoft は、「Windows 11」への移行が中々進まない中、2025年10月14日にサポート終了予定の「Windows 10」の個人ユーザー向けに、無料で1年間サポートを延長(2026年10月13日まで)できるようにするサービスを提供します。「ESU (Extended Security Updates) サブスクリプション」を年間30ドルで購入すればいいのですが、有償のためか不評で、今回の対応となったと思われます。

【Windows 10 サポート延長方法】

追加費用が発生しない2つの方法が追加されました。いずれも、Microsoft アカウントでログインが必須です。(無ければ新規にサインアップ)

1. Windows バックアップを使って設定をクラウドに同期する

Windows の「設定」アプリ⇒「アカウント」⇒「Windows バックアップ」を選択し、「OneDrive フォルダー」の同期設定、アプリ、自分の設定の保存を有効にします。

但し、「OneDrive」のクラウドストレージ容量が標準の5GBの場合、個人データも「OneDrive」に保存される仕様となっているので、もし保存するデータ量が多く、使い切ってしまった場合、予期せぬトラブルが発生する可能性があるため、あまりお勧めしません。

2. Microsoft Rewards を 1000 ポイント貯めて、交換する

Microsoft Rewards のポイントを 1000 ポイント交換する方法は、比較的簡単な選択肢です。Microsoft アカウントで「Edge」に個人プロフィールを設定している場合、必要なポイントが既に貯まっている可能性があります。仮にポイントがゼロの状態から始める場合でも、モバイル版 Bing アプリをダウンロードして2日間使用すれば500ポイントを獲得できます。その後、数日間にわたり Microsoft Rewards のサイトで検索クイズや投票、その他の簡単なタスクをこなせば、1日あたり100~200ポイントを獲得でき、短期間で必要なポイントを貯めることができます。

【Windows 10 サポート延長するか、しないか】

上記によりサポート延長できますが、旧 PC を使い続けたい場合、ソフトや周辺機器の互換性がない場合の選択肢として考えましょう。

延長期間は2027年10月までで、それ以降は有償になる可能性があります。1年かけて次期への対応を考えましょう。

YouTube を使いこなそう

YouTube 初めての方、かなり使っている方、いろいろかと思いますが、今回は、様々な機能を紹介します。

映画やテレビと違い、企業や個人が投稿した動画で、幅広い分野の情報が入手できます。最近流行りの AI による字幕の翻訳や自動吹替など、機能の充実がみられます。

【再生動画を見やすく】 (再生画面の下方のアイコン)

自動再生 (次の動画が自動再生)

字幕 (字幕のオン/オフ)

設定 (字幕の詳細設定、スリープタイマー、再生速度の変更、画質の変更)

全画面 (画面いっぱいに表示)

【マイページとは】

Google アカウントでログインすると、登録した動画やチャンネルを管理でき、下記の特徴があります。

- 気に入った投稿者を登録すると、新着動画の通知を受け取れます
- 気に入った動画だけを登録したプレイリストを作成できます
- 不適切な動画の報告やブロックができます
- 画質などの設定を保存できます

【AI が字幕表示、自動吹き替え】

- 動画の音声を AI が認識して自動で字幕を表示
- 表示された字幕を AI が認識して別の言語に翻訳
- 英語からの吹き替えと、ほかの言語から英語への吹き替えが可能
(日本語も対応していますが、対応している動画はまだ少ない)

【動画を投稿】

【投稿用のチャンネルを作成します】

- ①画面右上の「作成」をクリック
- ②「動画をアップロード」をクリック
- ③プロフィール写真の選択
- ④チャンネル名を入力
- ⑤ハンドルを入力

【アップロードする動画ファイルをドラッグ&ドロップします】

- ①動画のタイトルを入力
- ②動画の説明文を入力
- ③動画のサムネイルを選択
- ④子供向けかどうかを選択
- ⑤「すべて表示」で字幕などの詳細を設定する
- ⑥公開方法を選択し、「公開」をクリック

Windows10 サポート終了 (2025年10月14日)

以前にも取り上げましたが、いよいよサポート終了が間近になりました。対応策を再度お知らせします。早めに方針を決めましょう。

【Windows11の最低要件】

Windows11はハードウェア&ソフトウェアの要件が厳しくなり、古いパソコンではバージョンアップが難しくなっています。インターネットで「win11 要件」を検索し確認してください。ダウンロードは「win11 ダウンロード」で検索してください。(バージョンアップできても動作が遅い場合があります)

【Windows11への選択肢】

1. 新たにWindows11パソコンを購入する。

【新品】

最近「AI」流行りで、「AI PC」なども発売されています。

ChatGPTを使用するときはインターネットを介して、データをクラウド上にアップロードし、処理した生成結果をPCでダウンロードするため、通信遅延や情報漏えいの懸念があります。ノートPCでもAI処理を高速化できるNPU(AI処理に特化したCPU)が開発され、パソコンでAIが利用できる「AI PC」が誕生しました。これにより、AI分野の主流技術となっている深層学習の性能が向上するでしょうが、文書作成、簡単な表計算レベルでは無用の長物となるかもしれません。NPUを搭載しないパソコンより高めですが、今後価格も安くなり、すべてのパソコンに搭載されるかもしれません。用途、財布の紐に応じて機種を選んでください。(尚、メーカーはIntel、AMDに加えQualcomm等です)

また、「Copilot+PC」は、Microsoftが提供しているAIチャットアシスタント「Microsoft Copilot」の機能を利用できるサービスを搭載し、音声操作による翻訳や質問への応答、画像生成などさまざまな機能を利用し業務効率を向上します。

【中古】

5年前のパソコンをWindows11にバージョンアップした商品が見受けられますが、下記の要件のチェック

- ①Windows11 ProまたはHome バージョン 24H2
- ②CPU core i5~i9 or Ryzen5~9
- ③メモリ 4GB以上
- ④SSD 128GB以上
- ⑤Microsoft Office(Microsoft 制でないもの⇒WPS Office LibreOffice OpenOffice)

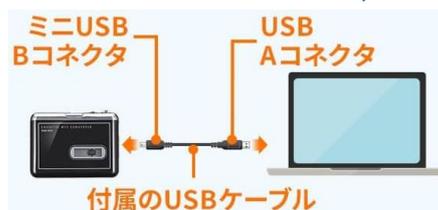
アナログからデジタルへ(思い出を半永久に)

昔の懐かしいアナログ機器のデータ(例えば、カセットテープ、レコード盤、ビデオテープなど)を長期保存したい、手軽に再生する方法は?

アナログレコード盤は、マニアにとってはちょっとしたブームですが、最近アナログの機器も生産縮小傾向で、昔の大切なデータをどうしようかと思っている方も多いのではないのでしょうか。特にテープはカビが発生し劣化する可能性が大です。再度機器を購入するののも一つの方法ですが、DVD等に変換する方法を紹介しましょう。

【カセットテープ】

- ①カセットデッキを購入し、SDカードに直接保存する
- ②カセットデッキを購入し、パソコンを接続し保存する
- ③カセットデッキがある場合は、出力端子に接続し、パソコンで保存する



【レコード盤】

- ①音質は保証できないが、Bluetooth、USB等対応で、多機能安価なレコードプレーヤーを購入し保存する
- ②レコードプレーヤーがある場合は、
【カセットテープ】③と同様にパソコンで保存する



【ビデオテープ】

- ①ビデオ機器、キャプチャーケーブル、パソコンを接続する
 - ②ビデオを再生し、パソコンで保存する
- ※ビデオデッキ等がない場合は
オークションで購入、
またはレンタル等を利用する



以上の方法でデータを作成しSDカード、USB、DVD等に保存し、パソコン、スマホ、DVDデッキ等で再生する